

市長と語る鎌倉の未来

～深沢まちづくりと市庁舎移転～

ご来場いただきありがとうございます。
本日は「深沢まちづくりや本庁舎移転」についての“対話の会”です。

一方向的なコミュニケーション「事業説明」ではなく、双方向の「対話」となるよう努めます。

意見を交換することで、事業の背景や進め方についてご理解をいただければと考えています。

本日 流れ

1. 事業に関する情報発信について
2. 各事業の説明
 - 深沢のまちづくり
 - 新駅の設置について
 - 新庁舎の整備について
3. 対話 ～意見交換～



1. 事業に関する情報発信について



R4年 市議会12月

鎌倉市役所移転に関する条例※を提案 賛成 16 反対 10で、出席議員2/3に足らず否決

市民への情報共有が
不足している

移転に向けた
動きがわかりにくい

事業の必要性や背景、意志決定プロセスにたいする意見・指摘をうける

※「鎌倉市役所の位置を定める条例の一部を改正する条例」のこと

広報かまくら2月号1面

条例否決についてや、議会でもうけた指摘・意見にたいするアクション方針を掲出。





事業に関する情報発信に関する

アクションの方針

課題

情報が分かりにくい

- 複数の事業からの情報
- 複数の事業のスケジュール・費用・体制が錯綜

情報共有の不足

- 受け手視点の情報加工（図解の不足）
- 限定された情報源

対策＋方針

→ 情報を統合 & 全体像

- 事業ごとに進捗・推進する（が）
- 情報は統合して全体像の「見える化」

→ 受け手視点の情報づくり


- 平易な言葉と文章
- 図解を活用した説明補足

いま 起きていること

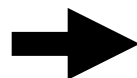
まちづくりの
スケジュールです



駅の
スケジュールです



新庁舎の
スケジュールです



これから



全体のスケジュールはこのように
今日はまちづくりの部分について
お話をします

いま 起きていること



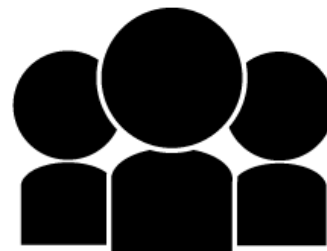
深沢
まちづくり

新駅

新庁舎
整備

全体像がとらえにくい

これから



情報を整理・編集
～受け手視点～



深沢
まちづくり

新駅

新庁舎
整備

理解が進む・興味がわく

※ 市の公式WEBには従前どおり全ての情報を掲載。
他の媒体などを活用して上の方針を目指す



具体的なアクション

2023年度内

WEB上に“深沢まちづくり・新駅・新庁舎整備”
情報源ページ（特設ページ）を構築

- 全体像がみえる
- 更新される
- 受け手視点

特設サイトとは

事業・イベントなどの特定の目的のために制作されるWEB上の情報源となるページ。事業やイベントなどが開催されている期間のみ公開。

右写真は、吹田市と摂津市をまたぐJR東海道線・岸辺駅前エリアの「健康・医療」のまちづくりの特設サイト。





2. 各事業の説明

- 深沢のまちづくり
- 新駅の設置について
- 新庁舎の整備について



深沢のまちづくり

深沢地区のまちづくりは、どのような事業か



深沢地区のまちづくりは、土地区画整理事業によって
道路などのまちの土台を整備
ここに、まちのコンセプトに沿った建物や空間などができ
世界に誇る新しいまちをつくります。



なぜ 深沢のまちづくりを行うのか

昭和62年 深沢地区に約8.1 ha の国鉄清算事業団用地が誕生 ⇒ 深沢に大規模な未利用地が誕生

未利用地の活用、複合的な都市機能の受け皿となる拠点をつくる

鎌倉と大船に次ぐ、

第3の都市拠点を形成することで、

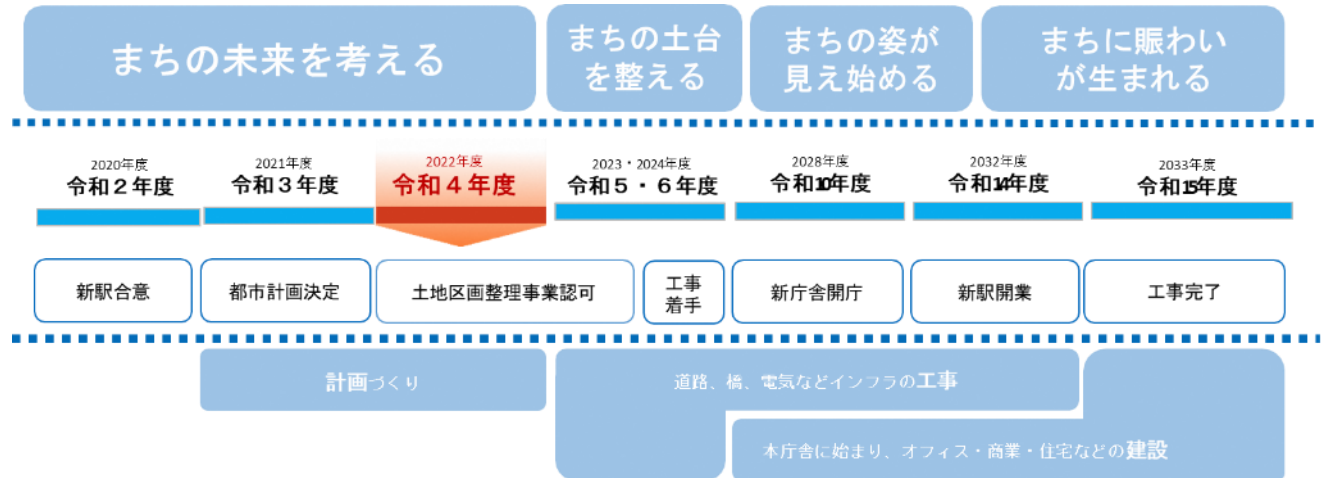
- ・ 人口減少、少子高齢化
- ・ 社会インフラ、公共施設の老朽化
- ・ 市の財政基盤の強化

等の様々な課題に対応します。





スケジュール



※スケジュールは2023年2月時点の想定で、変更となる場合があります。



2. 各事業の説明

- 深沢のまちづくり
- **新駅の設置について**
- 新庁舎の整備について



新駅に設置について



(1) 事業の概要

東海道本線大船駅・藤沢駅間の新駅整備及び自由通路整備

(2) 新駅整備の費用負担の割合

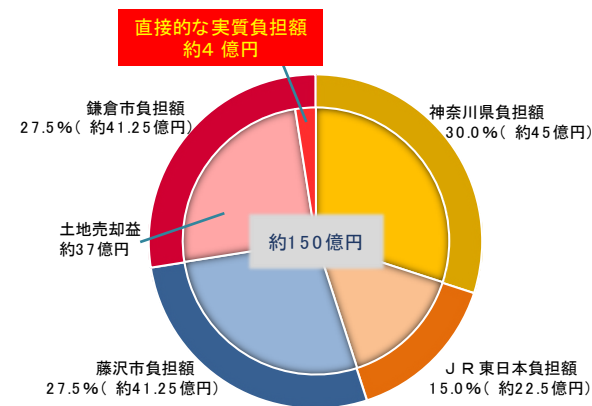
神奈川県負担 : 30.0%

藤沢市の負担 : 27.5%

鎌倉市の負担 : 27.5%

J R 東日本の負担 : 15.0%

※自由通路整備は藤沢市事業





(3) スケジュール

令和4, 5年	詳細設計
令和6年～	工事着手
令和14年～	開業（見込み）

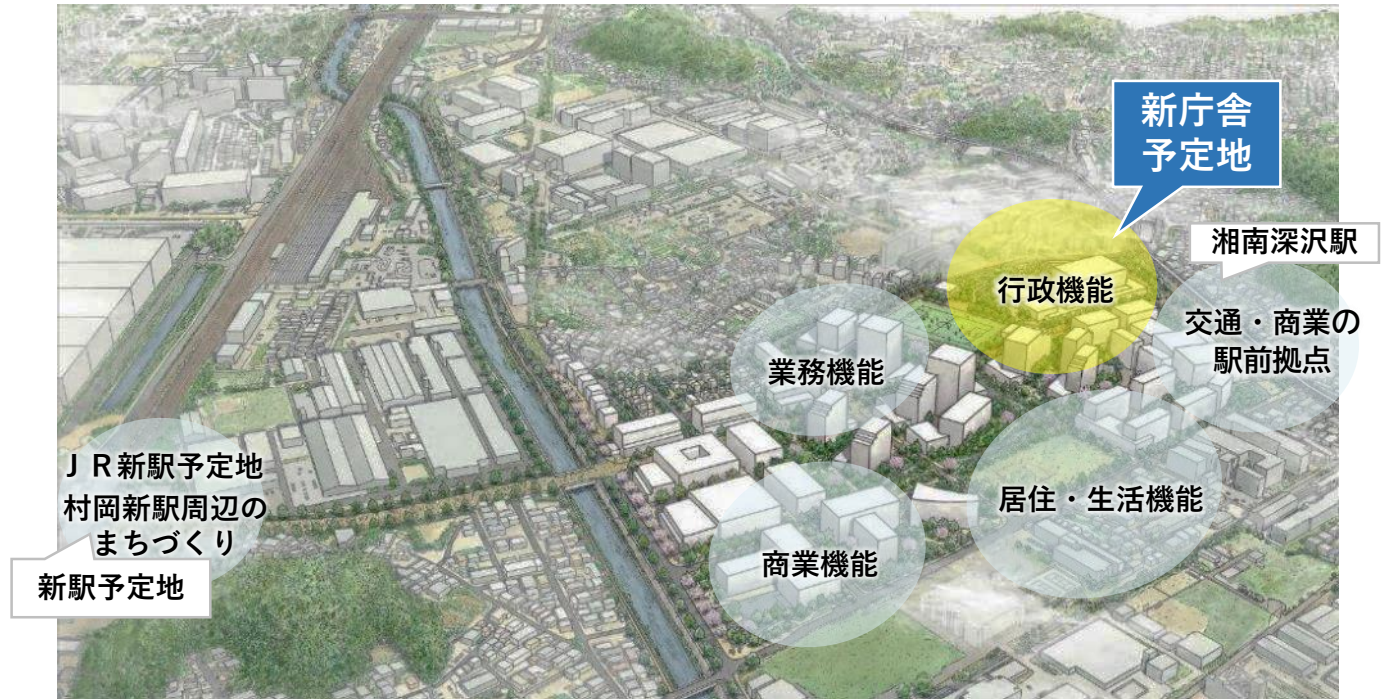


2. 各事業の説明

- 深沢のまちづくり
- 新駅の設置について
- **新庁舎の整備について**



新庁舎の整備について



出典：鎌倉市深沢地区まちづくりガイドライン

※上記はイメージ図であり、建物等の具体的な計画を示すものではありません。

新庁舎とは

深沢地区のまちの行政機能エリア（北東）内に
市庁舎、地域図書館、学習センター、消防本部・消防署を
複合した施設の整備を計画しています



新庁舎の整備について

新庁舎のコンセプト まもる・やさしい・つながる

今の課題

- 現庁舎は耐震性不足
- 災害時支援を受けるスペース 不足
- 来庁が前提のつくり
- やさしくない建築構造
- プライバシー確保難
- 居場所となるスペース 不足
- 市民の交流を促す場 不足

1 まもる ~災害に強くなります~

耐震性能を備える



大地震発生時も災害対応拠点として機能！

オンラインでの業務体制を備える



様々な災害発生時も業務継続可能！

受援力を備える



自衛隊、支援物資などの大規模な受入れ可能！

エネルギー・給水を備える



ライフライン途絶でも概ね3日間自走可能！

2 やさしい ~サービスの提供方法が変わります~

全ての手続・相談が原則オンライン可能



自宅等からスマホで簡単！

対面型の窓口も設置



オンラインが苦手な人も安心！

ワンストップ・サービスの導入



一か所で全て完結！

予約制も導入



待ち時間短縮！

3 つながる ~市民活動スペースが充実します~

深沢図書館・学習センターの複合化！



カフェ等のほかフリースペースを導入！



まちづくり情報などを発信！



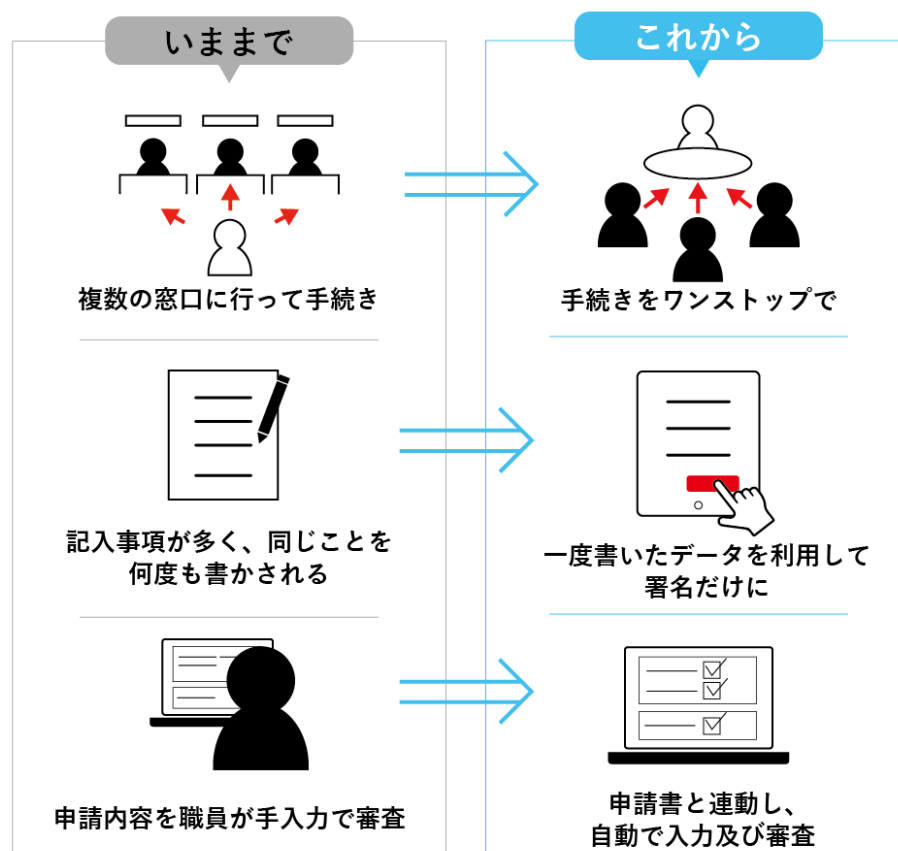
市民活動・市民交流スペースを大幅拡充！



デジタル化による行政サービス

住民のメリット: 時間・場所に制約なし・便利

行政のメリット: 業務の迅速化・職員負担の軽減



※画像はイメージです。実際の導入サービスは今後検討し決定していきます。

デジタル化による行政サービス



出典:株式会社オカムラ 鳥取市庁舎(鳥取県)

住民の利便性や満足度の向上、市役所の窓口業務の効率化を実現



出典:小松市(石川県) 電子申請サービス

今後はスマートフォンなどでの申請は一般的に。



新庁舎の整備について

コンセプト「まもる・やさしい・つながる」のもと

市庁舎とともに居場所となる施設やまち
全体の災害対策に貢献する施設を整備



まもる

3 階など

災害対策本部（市庁舎）
消防本部・消防署



やさしい

2 階など

手続・相談ロビー（市庁舎）



つながる

1 階など

市民交流スペース（市庁舎）
図書館、学習センター



まもる 3階など

災害対策本部（市庁舎）
消防本部・消防署



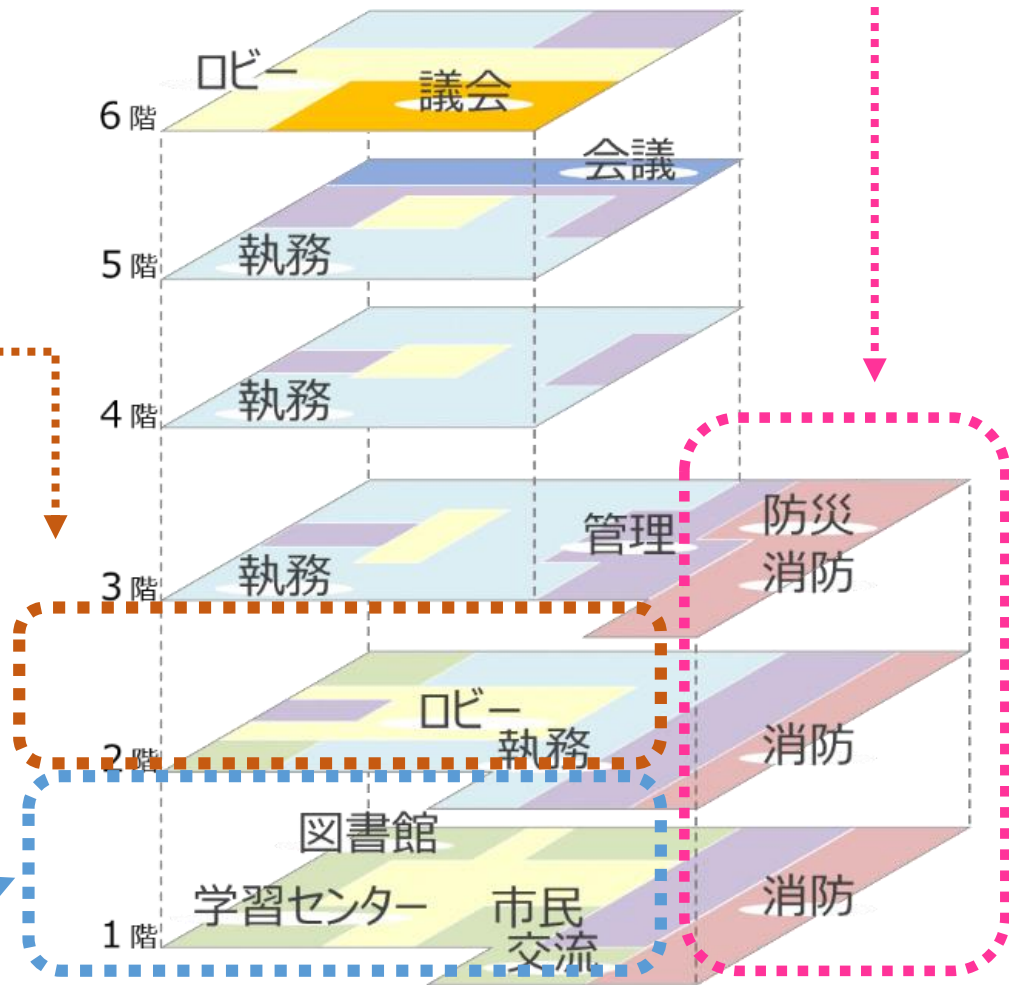
やさしい 2階など

手続・相談ロビー
（市庁舎）



つながる 1階など

市民交流スペース（市庁舎）
図書館、学習センター

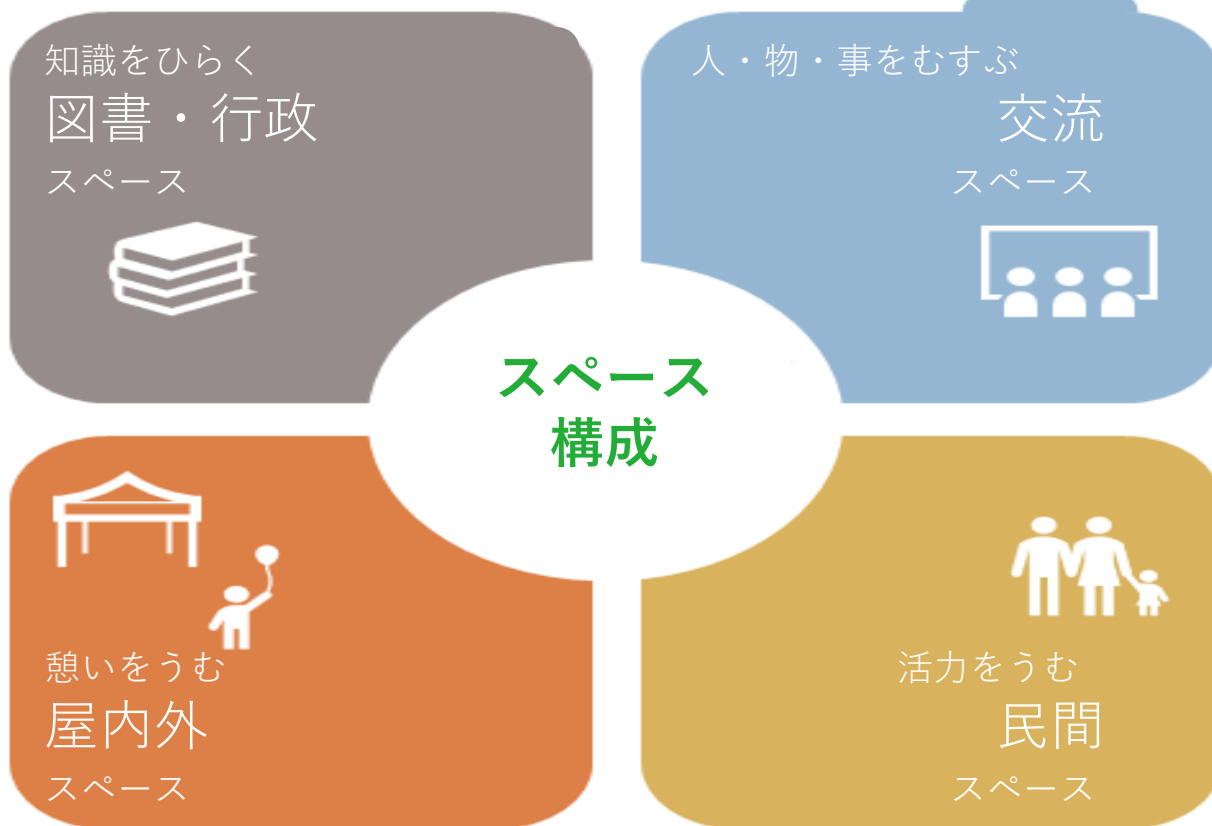




市庁舎現在地利活用基本理念（ビジョン）

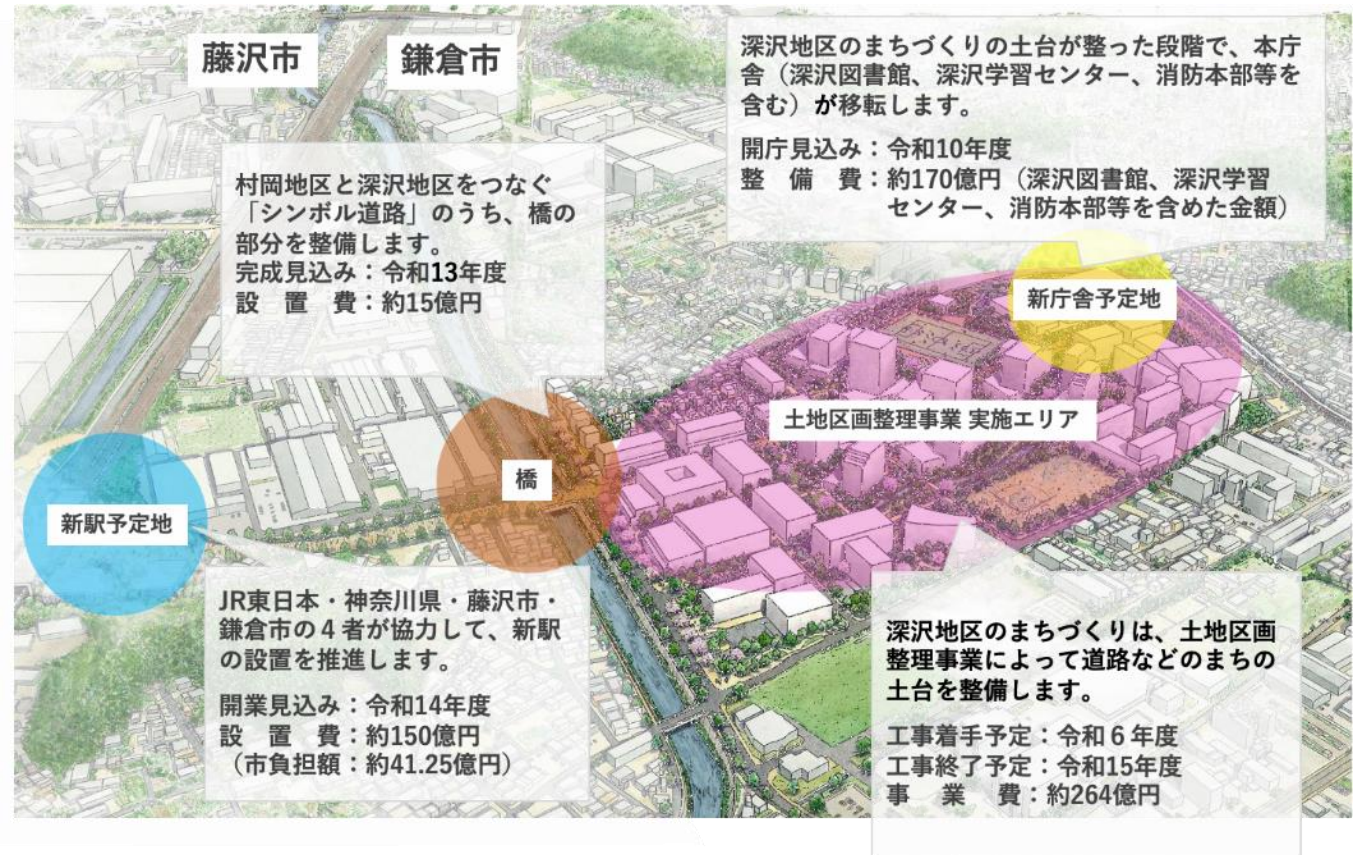
ひらいて むすんで

知恵うむ “ふみくら” (文庫)





3事業のまとめ_1





3 事業のまとめ_2

費用は更なる負担低減に努める

国からの助成や土地売却から得る資金を充てる

【単位：約 億円】

事業	事業規模 総額 (A)	特定財源(B)		市負担
		国負担	土地売却	
① 土地区画整理事業 (まちづくり造成工事)	227	40	147	40
② 新駅設置	41	検討中	37	4
③ 新庁舎整備 (深沢図書館、深沢学習センター、消防本部等含む)	170	—	—	170
【関連事業】 柏尾川新橋設置	15	8	—	7

※事業費は概算であり、現時点で確定しているものではありません。